

2023年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年5月15日

上場会社名 株式会社グラフィコ 上場取引所 東
 コード番号 4930 URL <https://www.graphico.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 長谷川 純代
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO兼管理本部長 (氏名) 榎並 正太郎 (TEL) 03-5759-5077
 四半期報告書提出予定日 2023年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年6月期第3四半期の業績 (2022年7月1日~2023年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第3四半期	3,712	25.2	235	9.0	222	2.7	153	2.6
2022年6月期第3四半期	2,963	—	215	—	217	—	149	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
		円 銭		円 銭				
2023年6月期第3四半期		164.30		159.71				
2022年6月期第3四半期		161.01		154.25				

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2021年3月31日)等を2022年6月期第1四半期会計期間の期首から適用しております。2022年6月期第3四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年6月期第3四半期	3,844	2,224	57.9
2022年6月期	2,694	2,093	77.7

(参考) 自己資本 2023年6月期第3四半期 2,224百万円 2022年6月期 2,093百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年6月期	—	0.00	—	—	—
2023年6月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年6月期の業績予想 (2022年7月1日~2023年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,740	15.3	265	17.3	251	18.5	173	18.8	185.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年6月期3Q	938,340株	2022年6月期	932,780株
------------	----------	----------	----------

② 期末自己株式数

2023年6月期3Q	74株	2022年6月期	43株
------------	-----	----------	-----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年6月期3Q	933,985株	2022年6月期3Q	929,122株
------------	----------	------------	----------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、景気に緩やかな持ち直しの動きがあり、ウィズコロナの新たな段階への移行が進められている一方で、地政学的リスクの上昇により端を発した原材料価格の高騰は続いており、世界的な金融引締め等が続いており、為替相場も継続して不安定な状況となっており、先行きは依然として不透明な状況にあります。

当社が属する健康食品、化粧品及び日用雑貨業界におきましては、国内の個人消費に緩やかな持ち直しの動きが見られると共に、訪日外国人によるインバウンド需要の回復基調も見られております。一方で、各種消費財の値上げが継続しており、今後の消費動向も含めた影響の予測が難しい状況にあります。

このような状況の下、当社は「モノ創りで、笑顔繋ぐ。」を経営ビジョンとして、変容する働き方やライフスタイルの中で頑張る方々を応援し、笑顔で幸せな生活を楽しんでいただくための商品を創出するメーカーとして、常にお客様の立場に立って、興味・共感を得られる実感値の高いモノ創りに挑戦し続けてまいります。

コロナ禍における新しい生活様式に関連した消費行動の変容を中心に、当社の強みである企画・開発力、プロモーション力を活かし、多様化する消費者ニーズを捉えた高付加価値で競争力の高い商品の開発に取り組んでおり、主力ブランドにおきましては新商品投入や既存商品のリニューアル、商品ラインナップの拡充に向けた取り組みを進めております。当第3四半期会計期間では、「ビューティークア」カテゴリにおいて、「フットメジ」ブランドから他社との期間限定コラボレーション商品を新たに発売、「ハウスホールド」カテゴリにおいて「オキシクリーンEX」シリーズにつめかえ用商品を発売、「オキシクリーン マックスフォース」シリーズにおいてジェルスティックの再販売を開始しました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は3,712,343千円（前年同期比25.2%増）、営業利益は235,272千円（前年同期比9.0%増）、経常利益は222,938千円（前年同期比2.7%増）、四半期純利益は153,450千円（前年同期比2.6%増）となりました。

当社は健康食品、化粧品、日用雑貨、医薬品の企画及び販売を主たる事業とする単一セグメントであるため、セグメント情報に代えて商品カテゴリ毎の取り組み状況について記載しております。カテゴリは、健康食品を中心とする「ヘルスケア」、化粧品を中心とする「ビューティークア」、日用雑貨の「ハウスホールド」、医療用医薬品と一般用医薬品の「医薬品」、「その他」で構成されております。

なお、「医薬品」カテゴリにつきましては、2022年11月22日に「会社分割（簡易吸収分割）に関するお知らせ」として公表しておりますとおり、2023年2月1日を効力発生日として他社に医薬品事業を承継しております。

（ヘルスケア）

ヘルスケアに区分される商品におきましては、インバウンド需要の回復途上ではあるものの、全体としては低調な動きとなりました。その結果、ヘルスケア商品の売上高は、137,199千円（前年同期比43.7%減）となりました。

（ビューティークア）

ビューティークアに区分される商品におきましては、フェムテック商品である「よもぎ温座パット」において、リブランディングを行い、積極的にPR活動やメディア露出を行った成果もあり、売上拡大に貢献いたしました。また、足ケアブランド「フットメジ」から世界的人気のサッカー漫画「キャプテン翼」との期間限定コラボレーション商品を2023年3月に発売しました。その結果、ビューティークア商品の売上高は、373,589千円（前年同期比7.3%増）となりました。

（ハウスホールド）

ハウスホールドに区分される商品におきましては、酸素系漂白剤ブランド「オキシクリーン」では、昨年度に続き『Best白T Dresser賞2023』を開催するなど、継続して積極的なPRイベントの実施や更なる認知度向上のためのプロモーション活動を実施してまいりました。注目度の高まりから導入店舗や導入アイテムも拡大しており、つめかえタイプの販売も好調に推移していることから継続ユーザーの拡大も進んでおり、売上が増加しております。その結果、ハウスホールド商品の売上高は3,096,976千円（前年同期比36.8%増）となりました。

(医薬品)

医薬品に区分される商品におきましては、2023年2月1日を効力発生日として行った会社分割により他社に医薬品事業を譲渡したため、2023年1月で事業を終了しております。その結果、医薬品の売上高は64,953千円（前年同期比19.5%減）となりました。

(その他)

その他売上につきましては、主として植物石鹼等のPB（プライベートブランド）商品を販売しており、売上高は39,624千円（前年同期比42.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ1,150,263千円増加し、3,844,393千円となりました。これは主に2022年9月に資金調達を行ったことにより現金及び預金が698,493千円増加したことに加え、原材料及び貯蔵品が217,303千円増加、さらに余剰資金の一部を投資有価証券で運用を開始したことにより投資その他の資産が770,595千円増加した一方で、商品及び製品が378,676千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べ1,019,572千円増加し、1,620,166千円となりました。これは主に、前事業年度末に季節借入として行っていた短期借入金200,000千円を返済した一方で、長期的な運転資金を確保し安定的な経営戦略を採用するために、社債および長期借入金にてそれぞれ500,000千円ずつの資金調達を行ったことによる増加に加え、買掛金が229,985千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ130,690千円増加し、2,224,227千円となりました。これは主に、四半期純利益の計上により利益剰余金が153,450千円増加した一方で、繰延ヘッジ損益が24,057千円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は57.9%（前事業年度末77.7%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年6月期の通期業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ2022年8月12日に公表しました通期の業績予想を以下のとおり修正いたしました。詳細は本日公表の「2023年6月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2023年6月期の通期業績予想（2022年7月1日～2023年6月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想	4,300	165	150	100	107.21
今回発表予想	4,740	265	251	173	185.00
増減額	440	100	105	73	—
増減率	10.2	60.6	71.9	73.0	—
(参考) 前期実績 2022年6月期	4,111	225	211	145	156.58

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	310,301	1,008,794
受取手形及び売掛金	583,359	447,518
商品及び製品	1,301,783	923,107
原材料及び貯蔵品	288,364	505,668
未収収益	—	2,955
その他	92,592	73,529
貸倒引当金	△1,088	△878
流動資産合計	2,575,313	2,960,696
固定資産		
有形固定資産	16,977	10,571
無形固定資産	18,865	19,556
投資その他の資産	82,973	853,568
固定資産合計	118,816	883,697
資産合計	2,694,130	3,844,393
負債の部		
流動負債		
買掛金	151,951	381,937
未払法人税等	7,509	61,985
賞与引当金	—	10,690
短期借入金	200,000	—
1年内償還予定の社債	—	100,000
1年内返済予定の長期借入金	—	100,000
その他	235,992	260,372
流動負債合計	595,453	914,985
固定負債		
社債	—	350,000
長期借入金	—	350,000
資産除去債務	5,139	5,181
固定負債合計	5,139	705,181
負債合計	600,593	1,620,166
純資産の部		
株主資本		
資本金	245,661	248,424
資本剰余金	235,661	238,424
利益剰余金	1,599,059	1,752,509
自己株式	△229	△293
株主資本合計	2,080,152	2,239,065
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	—	△4,165
繰延ヘッジ損益	13,385	△10,672
評価・換算差額等合計	13,385	△14,837
純資産合計	2,093,537	2,224,227
負債純資産合計	2,694,130	3,844,393

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2021年7月1日 至2022年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自2022年7月1日 至2023年3月31日)
売上高	2,963,996	3,712,343
売上原価	1,583,102	2,280,175
売上総利益	1,380,893	1,432,167
販売費及び一般管理費	1,165,139	1,196,894
営業利益	215,754	235,272
営業外収益		
受取利息	6	10
有価証券利息	—	3,589
受取補償金	6,287	—
その他	1,330	1,753
営業外収益合計	7,625	5,353
営業外費用		
支払利息	—	3,111
社債利息	—	1,773
社債発行費	—	7,039
為替差損	6,361	5,306
その他	10	456
営業外費用合計	6,372	17,687
経常利益	217,006	222,938
税引前四半期純利益	217,006	222,938
法人税、住民税及び事業税	62,524	82,664
法人税等調整額	4,885	△13,176
法人税等合計	67,410	69,487
四半期純利益	149,596	153,450

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。